

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立大仙西小学校
校長 土屋 千紗

中学校区におけるめざす子ども像

ちがいをみとめ、ともに生き、将来の夢と希望に向けて自ら学び続ける子

2024年度 重点目標

『自立と共生の教育創造』 なかまとともに自らの生活をきりひらいていく行動力をもった子どもの育成

本年度の重点目標として「すべての子どもの学習・学力保障から進路保障へ！」～「多様性」をキーワードとして～を設定。具体的には①「安心して学べる居場所」としての学校づくり ②実践と一体化した研究推進 ③子ども支援教育の充実 ④不易流行と教職員の「働き方」の見直し ⑤「日本語指導教室」をベースとした5つの取り組みを「チーム大仙西」として推進する。

「確かな学び」の現状

- ・学校全体としては、「静謐な学習環境」を維持し、落ち着いた雰囲気の中で授業に取り組んでいるが、登校できていない児童の家庭への連絡（登校を支援する）が必要な現状がある。
- ・学力・学習状況調査の結果を分析しても、学習への意欲・関心についての成果は見られるが、基礎基本の学力や家庭学習の定着については課題があり、全国・堺市平均の数値を下回っている。
- ・習熟度分割授業の推進や、堺スタンダード型授業の推進に取り組んでいるが、個別支援の必要な子どもたちへのアプローチにも多くの時間が必要である。
- ・聞きあうクラスづくりの取り組みから「学びを深める」ためのスモールステップを進める。

「豊かな心・健やかな体」の現状

- ・「自立と共生」の教育創造のベースには、「心」「体」の発達が不可欠である。
- ・「健やかな体」の育成に関しては、全学年が体育の授業の中で必ず「体づくり運動」（本校オリジナルの運動）を取り入れ継続的な体づくり（体づくり）に取り組んでいる。同時に、「食教育」「健康教育」とも連動した取り組みを推進している。
- ・「豊かな心」の育成に関しては、「人権教育（主として人権総合学習）」「道徳教育」の実践・研究を通して、自尊感情の醸成やコミュニケーション力の育成に取り組んでいる。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	個別支援の充実	「すべての子どもに学力保障を！」合言葉に、すべての子どもが安心して学べる環境を保障し、個々の支援の徹底を図る。	●「すべての子どもに学力保障を！」の理念を徹底し、どの子どもも安心して学べる環境を創造する。	未登校児童の欠席率を5%減少 ケース会議の推進(月1回以上)	学校教育アンケート 学校教育アンケート	1月 1月	△ 未登校児童の欠席率は昨年度の同時期と比較すると減少傾向にあるが、日によっては多くなることもある。	○	子どもたちへきめ細かな働きかけをいっしょに行っていることがわかった。どの先生・職員も愛情深く対応していただいている。	
			全教職員による、気になる子どもの情報共有。支援・通級・通常学級での情報交換	研修会議・職員会議での情報交換 連絡カードによる日々の情報交流。	学校教育アンケート 学校教育アンケート	1月 1月	○ 定期的な情報交換を必ず実施している。引き続き全教職員で情報の共有を行う。	◎		
	基礎学力の向上	「すべての子どもの学習・学力保障から進路保障へ」言語活動の充実 ・基礎学力の定着を図る ・語彙力の向上を図る ・自分で考え、そのことをノートに書いたり、自分の言葉で他の人に伝える指導の推進	●「すべての子どもの学習・学力保障から進路保障へ」の具体化のため計算力の向上と定着を図る。	基礎計算力のチェックを年2回実施し、成果と課題を分析し実践に活かす	チェックテスト		年2回	△ 計算チェックで明らかになった課題をもとに、計算タイムや宿題などで繰り返し練習し、定着を図っている。	○	どの学級も和やかな雰囲気、子どもたちが生き生きと活動していると思う。引き続き、落ち着いた学級・環境づくりをしながら、学力・学習保障に取り組んでほしい。
			●タブレット端末を活用し、児童が興味を持って取り組める授業の実践を行う。(週3日以上)	日々の授業内容	実践報告		1月	△ 発表資料の作成や調べ学習など、授業の中で活用する場面が増えている。引き続き取組をすすめていく。	○	
豊かな心・健やかな体	心と体の育成	・「自立と共生」をめざした心身の育成を図る。 ・「いじめ」「SNSに関する」生徒指導の徹底 ・人権総合学習の深化・充実を図る。	★言語活動を重視し、全学年で「語彙力アップ」の取り組みを推進し、研修会議で成果と課題を交流・分析する	「語彙力アップ」の取り組みの交流 「語彙力アップ」のための教材研究	研修会議 夏期校内研修会	毎月 7月・8月	△ 「語彙力アップ」の取組交流により、聞き合う活動や国語での取組や実践を交流している。引き続き取組をすすめていく。	○	チームとして組織的に対応していただいている。SNS等ネット上でのトラブルの未然防止に向けて引き続き取組をすすめてほしい。	
			★中学校区全体での「書く指導」と連携したノート指導と「聞きあうクラスづくり」の徹底	「聞きあうクラスづくり」の取り組みの交流と「ノート指導」の交流	実践報告 情報交換・発信		年3回 1月	△ 考えたことを聞き合う活動を行っている。また、よいノートの紹介などにより、ノートへの書き方の工夫をすすめている。		○
			★国語科や人権総合学習の研究授業を通して「聞きあうクラスづくり」からの学びの深化。	国語科や人権総合学習の研究授業(コミュニケーション力育成の取り組みの交流)	学校教育アンケート 指導主事等による評価		1月 年6回	○ 児童の学習の状況や学習内容に応じて、学級全体・ペア・グループ活動での話し合い活動を工夫し、取組をすすめている。		◎
	関係づくり	・豊かな人間関係づくりを育むための「学級集団づくり」の取り組みの推進。 ・コミュニケーション力の育成	★「人権総合学習」の深化・充実により、「自尊感情」の醸成と「人権感覚」を磨いていく。	各種学習状況調査やアンケートの「自尊感情」のポイントアップ	学校教育アンケート 児童アンケート		1月 1月	○ 全学年で取り組み、人権総合学習や授業・行事を通して自尊感情の向上に努めている。	◎	地域との交流や3校交流等学校群での取組をしっかりとすすめていることがわかった。引き続き取組を充実させてほしい。
「人権総合学習」の深化・充実により、人との豊かな出会いが保障される場を設定する。			人権総合学習の授業研究 人権総合学習の取り組みの交流・評価	研究授業討議 学校教育アンケート		2学期1回 1月	○ 地域の方をはじめ、様々な方と出会う機会や、学校群内の児童生徒との交流を充実させた取組をすすめている。	◎		
学校チーム力	チーム力の向上	・個々の危機対応能力のアップ ・「チーム力」アップによる「働き方改革」の推進	個人提案・個人発表の機会を増やす。危機管理意識の徹底を図る。	個人提案・個人発表の機会を増やす。 危機管理意識の徹底を図る。	運営委員会 学校教育アンケート	毎月1回 1月	○ 様々な危機事象を想定した避難訓練等を実施し、意見交流等を行った。	◎	教職員の健康も大切にながら教育活動を充実させてほしい。	
			「チーム」による取り組みをさらに推進し、会議のスリム化・効率化を図る。	月平均時間外滞在時間 45 時間以内を維持する。	学校教育アンケート		1月 毎月	○ 月平均時間外滞在時間が現時点で平均約 36 時間となっている。引き続き会議のスリム化・効率化を図り、維持に努める。		◎

校長より(年度末)

今年度も「自立と共生」の教育創造に向けて「チーム大仙西」で取組をすすめた。人権総合学習の深化・充実、一人ひとりの児童に寄り添った学習支援等により、安心して学ぶことのできる学級・学校づくりができたと感じている。また、保護者や地域の方の見守りや声かけ、様々な方の学習活動へのご支援やご協力があったからこそ、子どもたちが人とつながることのあたたかさを感じ、なかまを大切にしたり、自分の力を発揮したりすることができた。次年度も、保護者・地域の方々と連携を密にしながら、今年度の課題を踏まえ、よりよい学校づくりに取り組んでいきたい。

学校関係者評価者から(年度末)

子どもたちが和やかな雰囲気の中で楽しく過ごせており、学校全体で愛情深く子どもたちに関わっていただいていることがよくわかる。今後も地域・保護者と連携しながら、子どもたちのために尽力していただけたらと思う。